

《特集》

まちと暮らしをつなげる「おまつり」

大阪くらしの今昔館news

今昔館の天井改修工事とその期間中の展示
商都慕情II 一水のまち大阪を巡る—

企画展コラボ企画 ミニおうち作り体験

トピックス

外装のメンテナンスを考えよう—外壁・屋根—

コラム

重文民家で引き継がれる年中行事がある暮らし
碓田智子氏(大阪教育大学教授)

大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

人と住まいを結ぶ情報発信基地

大阪市立 住まい情報センター

〈今月の表紙〉

三泉商店街振興組合・のきさきあるこ運営委員会のメンバーの皆さん。

※新型コロナウイルス感染防止に配慮した上でマスクを外して撮影しています。

〈特集〉

まちと

暮らしを

つなげる

「おまつり」

秋は祭りの季節。コロナ禍により、例年通りの祭りやイベントが実施できなかった地域もたくさんあります。都市空間を舞台に行われる様々な祭りやイベントは、普段と違うまちの姿を見せてくれるもの。いつもと違う状況の今、暮らしの中にある「おまつり」を通して、改めてまちや暮らしについて考えてみませんか。



平成28年に改修しただんじりの前で。左から、綿世悟さん、東堤仁さん、山本到悟さん。

「祖父の代からこの地域に住みだんじり祭りを見て育ってきました。私にとっでは、息子の世代に引き継いでいきたい大切な地域の文化です。だんじり祭りの良さは、年に一度、地域の人と世代を超えて交流できること。息子との会話も弾みますし、祭りの準備のためにメンバーが集まると、地域の困りごと自然と話題に上がるので共有できます。こういう機会が、いざという時の地域の連携にもつながると思うのです」と東堤さんは話します。中茶屋地区事務局の山本さんは20代の頃、この地に引越してきた。当時、地域との繋がりが薄かったが、祭りに関わることで地域と密接につながったと話す。居住地外で働いていると、地域の知り合いはなかなか作りにくいもの。一度中茶屋

を離れ、Uターンでこの地に戻ってきた綿世さん^{わたせ}も、祭りを通して仕事以外での人間関係を築けたことが嬉しいと語る。祭りの時期になると、同窓会のように顔を出しに戻ってくる懐かしい顔がある。盃を交わし、語り合う。五穀豊穡を祝うという意味が薄れても、祭りは今でも、地域での縁のつなぎ目としての役割を担っている。コロナ禍により昨年、一度は途絶えた祭りの縁。今年こそはと東堤さんたちは意気込む。今、祭りの捉え方も様々ですが、祭りをきっかけに、地域と関われることは重要なこと。若い世代にしっかりと届けていきたい。まずは、祭りを楽しみに来てほしいです。地域の伝統行事が育んできた人の繋がりを、祭りを楽しみながら、地域のこれからへと想いを馳せたい。

だんじり継承で育まれる地域の縁

鶴見区だんじり保存会連絡協議会（鶴見区）

軽快なだんじり囃子を奏でながら、だんじりを引き、ゆっくりとまちを練り歩く。大阪市鶴見区で行われている、五穀豊穡を神に感謝する秋の伝統行事「鶴見区だんじり祭」だ。他のだんじり祭りと一風異なるのは、鶴見区内の5つの地区が集まり、同じ日にパレードを行うところ。平成9年に発足した「鶴見区だんじり保存会連絡協議会」は、今津地区・横堤地区・中茶屋地区・浜地区・諸口地区が現在参加している。地区それぞれにお囃子や地車の趣向が異なることも、「鶴見区だんじり祭」の面白さのひとつだ。古くから続くまちの伝統行事についての想いを、今年の協議会会長で、中茶屋地区会長の東堤^{あづま}さんに伺った。

中茶屋地区ではだんじり囃子と共に、秋が訪れる。祭りが近づくこと、だんじり小屋の前で行われるお囃子の練習は、若手中心に行われる。伝統を引き継ぐための大切な行事だ。地域の小学校にプリントを配布してお囃子への参加を促したり、地域活動協議会の催しでお囃子体験を実施するなど、新しく地域にきた人や若い世代へ伝統行事を継承するための活動も積極的に行っている。



令和元年に開催された第一回鶴見区だんじり祭の様子。



1.中茶屋地区事務局会長の東堤仁さん。2.地区ごとに大切に保管されるだんじり。3.中茶屋地区は、古堤街道の中間地点にあたる場所。古堤街道、摂津の国と河内の国を繋ぐ枝切街道の分岐点であり、江戸時代にはお茶屋さんが多く点在するエリアだったそう。4.5.だんじりの設えは、地区によって様々。中茶屋地区では、野崎観音参りと地域の春夏秋冬をイメージした木彫りをあしらっている。写真「3」と同様の道標も見受けられる。

第三回鶴見区だんじり祭 中止

令和3年10月10日(日)に開催を予定していましたが、残念ながら中止になりました。

新型コロナウイルス感染防止に配慮した上でマスクを外して撮影しています。あんじゅはウェブサイトでもご覧頂けます。

地域文化資源を活用し、建築物を一斉に公開する事業、いわゆる「オープンハウス」が各都市で取り組まれているが、日本最大のイベントが、大阪で開催されている。2021年秋で8年目となる、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪（通称、イケフェス大阪）は、「生きた建築」の概念のもと、近代建築のみならず、現代の建築まで大阪の魅力的な建築物が、2日間無料で公開される回遊型イベントだ。2019年は、建物を公開する企業・団体が169件、一般参加者は延べ数約5万人で、大阪市民と大阪府民が3分の2を占めている。「建築は大阪の歴史、文化、市民の暮らしぶりという都市の営みの証。『生きた建築』を通して、まちを愛する心を育てたい」と、実行委員の高岡伸一さん（近畿大学准教授）は話す。

まちへの愛着を育む上で欠かせないのが、その土地に暮らす人々の意識の底上げだ。建物所有者自身が参加者の反応を通して、所有する建物の価値に気づくという効果も出ているのだそう。当日の案内は、所有者におまかせというスタイルも功を奏している。大阪ガスビルなど、企業が所有する建物では、社員が参加者に案内することで自社の建築について改めて学ぶ機会にもなっている。そして近年力を入れているのが、子どもたちへの教育だ。イベント期間中に、小学生対象のまち歩きツアーやワークショップを実施したり、2021年に子どもたちのための建築の本を出版するなど、未来を担う若者に向けてメッセージを発信している。



1.竹中工務店の御堂ビルで、社員が参加者へ解説の様子。2.実行委員会事務局の高岡伸一さん（近畿大学准教授）。3.ダイビル本館では、ダイビルの社員とテナントで入居する大林組による子ども向けワークショップが行われた。4.大阪ガスビルで、社員が参加者へ解説の様子。5.イケフェス大阪の中でも人気の公開建築のひとつ、大阪市中央公会堂。6.大阪弁護士会館でのガイドツアー。7.実行委員が制作した、子どものための建築の本「はじめての建築01大阪市中央公会堂」。8.子ども向け建築体験ツアーでは、建築史家の倉方俊輔さんが解説する。

1.3.4.5.6.8 (過去のイケフェス大阪の様子)の撮影：西岡潔



OPEN HOUSE OSAKA!
生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2021

日時：2021年10月30日（土）・31日（日）
※オンラインプログラムを中心に開催します。イベントの詳細はP10のメッセージボードに掲載されています。

イケフェス大阪2021の公式ホームページ

公式ツイッター

生きた建築ミュージアム大阪実行委員会（中央区）

大人も子どもも学び楽しむ！ まちへの誇りを育む建築フェスティバル



軒先で呼び起こす、懐かしいまちの賑わい

三泉商店街振興組合・のきさきあるこ運営委員会（大正区）



1.夕方から輝く、三泉商店街のネオン。2.イベントとして開催された、駅弁屋台の看板づくりワークショップ。3.2020年開催時のポスター。4.イベント参加がきっかけとなり、商店街の空き家を活用して、シェアハウス兼多目的スペースをスタートする「one Lab.」でのDIYの様子。5.（左）one Lab.メンバーの平松さんと（一社）大正・港エリア空き家活用協議会の川幅さん（右）。6.射的やヨーヨー釣りなどが楽しめる「こども夜店」。7.今年で理事長職10年目を迎える、三泉商店街振興組合・理事長の高橋さん。親子代々、商店街での商いを続けている。

「子どもがわいわいと集まって、三泉商店街に当時の賑わいが戻ったようでした」と三泉商店街振興組合・理事長の高橋和世さんは話す。組合のメンバーも高齢化する中、商店街に賑わいを作りたという想いを引き継いだのは、のきさきあるこ運営委員会だ。空き家再生を進める（一社）大正・港エリア空き家活用協議会・京都大学・民間企業 近隣住民など多種多様なメンバーで構成され、組合と

「子どもがわいわいと集まって、三泉商店街に当時の賑わいが戻ったようでした」と三泉商店街振興組合・理事長の高橋和世さんは話す。組合のメンバーも高齢化する中、商店街に賑わいを作りたという想いを引き継いだのは、のきさきあるこ運営委員会だ。空き家再生を進める（一社）大正・港エリア空き家活用協議会・京都大学・民間企業 近隣住民など多種多様なメンバーで構成され、組合と



屋台はデザインを統一。フードや手作り雑貨など多岐にわたる屋台の出店者は、商店街以外から募った。

連携しながらユーモア溢れるイベントを作り上げていった。
2回目開催の際に力を入れたのは、子ども向けの催しだ。1回目のイベント参加者アンケートで、「子どもも遊べる企画がほしい」という意見が多かったからだ。この地域には、都市には珍しく、外遊びをする子どもの姿をよく見かける。子どもの遊び場が減りつつある中、憩いの場になればという思いもあった。蓋を開けてみると、当日の看板やポスターを作るワークショップでは、子どもたちが大活躍。イベント当日には、手作りのヨーヨー釣りや昔懐かしいゲームが並び、子どもたちが券を握りしめて集まった。今後のイベント継続についても、前向きに考えていると高橋さんは話す。



ワークショップの様子。近隣小学校へのチラシ配布や広報誌への掲載など、積極的に参加を促したことで、多くの子どもたちが参加した。

のきさきあるこのホームページ

大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からそれぞれの制度へリンクしています。

住まい情報センター
相談専用電話

TEL:6242-1177

サービス付き高齢者向け住宅のご案内

「サービス付き高齢者向け住宅」とは、高齢者単身・夫婦世帯等が安心して居住できる賃貸等の住宅です。住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを提供することなどにより、高齢者が安心して暮らすことができる環境を整えます。

サービス付き高齢者向け住宅をお探しのみなさまへ

登録された住まいは、専用サイト「サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システム」にて、施設情報や住宅ごとの詳しい運営情報が公開されています。



登録制度等の詳細につきましては、ホームページにて

大阪市 サービス付き高齢者向け住宅登録制度

検索

問合せ先:都市整備局企画部安心居住課
【電話】06-6208-9648 【FAX】06-6202-7064



住まい

ご高齢者単身
ご夫妻世帯等

安心のための
必須サービス

- 状況把握サービス
- 生活相談サービス

生活支援サービス
(オプション)

- 食事の提供
- 清掃・洗濯等の家事援助
- 健康の相談・増進等

介護保険
サービス

入居者ご自身が、
必要なサービスを
選ぶ

住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で 158,000 円以下、高齢者・障がい者世帯等で 259,000 円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方が対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加【例年、年3回(4月・8月・12月)】があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市外にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	大阪市営住宅募集センター募集担当 ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター ●TEL:072-930-1093
大阪市住まい公社管理 公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ・民間すまいりんぐ(公社管理)	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	大阪府 住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
民間指定法人管理 民間すまいりんぐ(指定法人管理)	大阪市都市整備局 特優賃受付窓口 ●TEL:6882-7055 ●FAX:6882-7031 ※入居申込は各法人を案内させていただきます。	都市再生機構 (UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪府に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。〈セーフティネット住宅情報提供システム〉 https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪府に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。〈サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム〉 https://www.satsuki-jutaku.jp/	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。〈あんぜん・あんしん賃貸検索システム〉 http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府住宅まちづくり部 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット (<https://www.osaka-angenet.jp/>) および大阪市ホームページでご確認ください。
※補助、助成事業の利用には条件があり、事前協議が必要ですのでお早めにご相談ください。なお、予算額に達し次第受付を終了しますのでご注意ください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する、新婚世帯・子育て世帯を対象に住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申し込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805 ●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	「子育てに配慮した仕様」と子育てを支援する環境を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪市エコ住宅」として認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。
民間老朽住宅建替支援事業	集合住宅への建替建設費補助	重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替え費用の一部を補助します。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に要する費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅等のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取り組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンションアドバイザー派遣制度	分譲マンションの適正な管理等を支援するため、管理組合等の勉強会の講師として、一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関して、一般的なアドバイスをを行います。	予約申込 住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件当たり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修、建替え等)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回当たり60万円	
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局(住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232 ●FAX:6354-8601

MESSAGE BOARD

メッセージボード

令和4年度チャレンジタイアップ 事業企画提案を募集します



(公社)全日本不動産協会大阪府本部オンラインワークショップ「木造住宅の構造と断熱」の様子

タイアップ事業は、住まい情報センターが住まい・まちづくりに取り組むNPOや専門家団体と連携、協働して実施する事業です。このたび令和4年度に実施するセミナー・イベントの企画提案を募集します。

新たな分野や、新たな視点からの取組みを期待して、募集テーマは自由になっています。これまで、住まい情報センターで実施されたことのない、ユニークなテーマや仕掛けのあるイベントをお待ちしています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



●応募締切:令和4年1月12日(水)

「ブックトークサロン2021」 12月5日(日)に開催決定! テーマは、「浪花千栄子と大阪」

ブックトークサロンとは、大阪市立住まい情報センター4階にある「住まいのライブラリー」で所蔵している図書一冊を取り上げ、図書にまつわる方にご講演いただくイベントです。

今年は、昭和の大女優・浪花千栄子さんの唯一の著作である自伝「水のように」(朝日新聞出版)を取り上げ、当時の道頓堀の雰囲気や浪花千栄子さんの人物像・生涯などについて、広瀬依子氏(追手門学院大学国際教養学部講師)にご講演いただきます。

ブックトークサロンのお申し込み方法については、本誌P9に掲載しています。



生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪2021



●開催期間:(メイン期間)

2021年10月30日(土)・31日(日)

●参加方法等:イケフェス大阪2021の公式ホームページで確認ください。実施状況等の最新情報は、公式ホームページ・公式ツイッターでお知らせいたします。

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、通称「イケフェス大阪」は、毎年秋の週末に大阪の魅力ある建築を無料で公開する、日本最大の建築イベントです。

今年も150を超える大阪の生きた建築に参加いただき、スペシャルなオンラインプログラムを中心に開催します。建築等の専門家によるトークライブや、生きた建築の魅力をつらつら紹介するフォトギャラリー・動画コンテンツなど、どなたでも、どこからでも、気軽に安心してお楽しみいただける内容となっています。

また、大阪も加盟するロンドンを中心とする建築公開イベントの国際的なネットワーク、オープンハウスワールドワイドによる、加盟都市コラボイベントにも参加予定。

10月初旬には、公式ガイドブックも発行予定です。オンラインプログラムと合わせて、生きた建築の魅力をより一層堪能いただける1冊となっています。

※生きた建築とは…「大阪の歴史・文化、市民の暮らしぶりといった都市の営みの証であり、様々な形で変化・発展しながら、今も生き生きとその魅力を物語る建築物等」のこと

動画コンテンツの例(イケフェス大阪2020より)



大阪市中央公会堂



大阪建築リパークルース(土佐堀川編)



大阪建築リパークルース(堂島川編)



イケフェス大阪2021の公式ホームページ



公式ツイッター



オープンハウスワールドワイド

大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2021年

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです
オンライン受講できます

■住まいの基礎知識 第7回 住まいのお金編②「税金と確定申告」

個別相談のみ当日抽選

- 日時:12月12日(日)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:近畿税理士会 税理士
- 定員:会場50名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)
- 個別相談:定員4組(1組30分、会場参加のみ)

●住まいの維持管理(全3回) 第2回 空き家対策編「空き家の管理・利活用」

個別相談のみ当日抽選

- 日時:10月17日(日)13:30~15:00
- 場所:3階ホール
- 講師:岡原隆裕((一社)大阪府不動産コンサルティング協会)
- 定員:会場50名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)
- 個別相談:定員10組(1組30分、会場参加のみ)

第3回 リフォーム編「住まいのリフォーム」

- 日時:10月31日(日)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:山本嘉寛(一級建築士、(公社)大阪府建築士会 住宅を設計する仲間達)
- 定員:会場50名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)

●個人オーナー向け(全2回) 続続した賃貸不動産どうする?負産にしないために 大家の役割【第1回】維持管理・活用

- 日時:11月13日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:柏元真理子(がんばる家主の会)
- 定員:会場50名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)

大家の役割【第2回】税金

個別相談のみ当日抽選

- 日時:11月27日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:近畿税理士会 税理士
- 定員:会場50名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)
- 個別相談:定員4組(1組30分、会場参加のみ)

●家を借りて住む~家探し・契約・引っ越しから退去まで~

- 日時:12月4日(土)13:30~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:第1部:(一社)大阪府宅地建物取引業協会 研修インストラクター
第2部:近畿運輸局 大阪運輸支局
- 定員:会場50名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)

■住まいのミュージアム20周年記念事業 「大阪くらしの今昔館」のバトンを繋ぐ

会場開催のみ

- 日時:10月23日(土)13:00~15:20
- 場所:3階ホール
- 講師:谷直樹(前館長)、増井正哉(館長)
- 定員:150名(定員を超過した場合は抽選)オンライン100名(申込先着順)
- 申込締切:10月9日(土)
- 主催:大阪市、住まい情報センター

■住まいのライブラリーイベント ブックトークサロン2021 「浪花千栄子と大阪」

- 日時:12月5日(日)14:00~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:広瀬依子(追手門学院大学講師)
- 定員:会場100名(申込先着順)オンライン100名(申込先着順)

2 住まい情報センター タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が
共催するセミナー・イベントです
オンライン受講できます

■タイアップ+Plusセミナー 空き家で悩まないための知恵

- 日時:11月28日(日)13:30~15:00
- 場所:3階ホール
- 講師:柳野将、大村大((一社)大阪府不動産コンサルティング協会理事)
- 定員:会場70名(定員を超過した場合は抽選)オンライン100名(申込先着順)
- 個別相談:定員12組(1組30分)会場参加のみ(事前申込要。申込多数の場合は当日抽選)オンライン1組(1組30分、申込多数の場合は11月21日以降抽選)
- 団体:(一社)大阪府不動産コンサルティング協会

■チャレンジタイアップセミナー 弁護士・税理士が応える住まいの法律相談&税務相談

- 日時:12月11日(土)13:30~16:30
- 場所:3階ホール
- 講師:中村昭喜(弁護士)、安井貴生(税理士)
- 定員:会場70名(定員を超過した場合は抽選)オンライン100名(申込先着順)
- 申込締切:12月4日(土)
- 個別相談:定員20組(1組30分)会場参加のみ(事前申込要。申込多数の場合は当日抽選)
- 団体:(公社)全日本不動産協会大阪府本部

参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F
FAX:06-6354-8601
- 記入事項:イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。

■タイアップ+Plusセミナー 新たな住宅セーフティネット制度と高齢者の居住支援

- 日時:12月18日(土)13:30~15:00
- 場所:3階ホール
- 講師:池田光政(ファイナンシャル・プランナー)
- 定員:会場50名(定員を超過した場合は抽選)オンライン100名(申込先着順)
- 申込締切:12月11日(土)
- 個別相談:定員4組(1組50分)会場参加のみ(事前申込要。申込多数の場合は当日抽選)
- 団体:NPO法人日本FP協会大阪支部

3 その他 住まい関連イベント

■大阪市マンション管理支援機構 マンション管理組合相談会

- 日時:10月31日(日)13:00~16:00
- 場所:4階住情報プラザ
- 定員:12組(1組45分)法律相談6組・技術相談3組・管理一般相談3組※申込多数の場合は、大阪市マンション管理支援機構の登録管理組合を優先して抽選
- 申込締切:10月20日(水)

マンション管理基礎講座 連続講座

- 日時:①11月14日(日)・②11月20日(土)
両日共に10:00~12:30
- 場所:3階ホール
- 定員:各日100名(会場70名・オンライン30名)
※申込多数の場合は、大阪市マンション管理支援機構主催イベントに初めて参加される方、及び登録管理組合を優先して抽選
※連続受講が基本ですが、1日だけ、1講座だけの受講も可能です。
- 申込締切:11月8日(月)
- お問い合わせ:大阪市マンション管理支援機構事務局(06-4801-8232)

■共催事業 セクシュアルマイノリティと住まいの保障

- 日時:11月21日(日)14:00~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:葛西リサ(追手門学院大学准教授)ほか
- 定員:50名(申込先着順)オンライン併催
- 申込締切:11月11日(木)
- お問い合わせ:クレオ大阪子育て館(06-6354-0106)



あんじゅ読者アンケートにご協力ください。

- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止させていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。
- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。
- オンライン受講を希望される方はウェブサイトからお申し込みください。

【注意】
一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきかEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット
▶<https://www.osaka-angenet.jp>



企画展コラボ企画

「掌の建築展」橋爪紳也+遠藤秀平 建築ミニチュアコレクション(7/10-8/29)のコラボ企画として「ミニおうち作り体験」ワークショップを同時開催しました。限定50名のところ延べ311名の参加があり、「お家を作るのが難しかった。一番楽しかったのは屋根貼りです。また来たいです!」「自分の好きな家が作れた。すごく時間もかかったけど楽しかった。」など、たくさん声をいただきました。

実はこのワークショップ。住まい情報センター(以下センター)が2013年度から実施している「住教育(じゅうきょういく)」の一つの試みなのをご存じでしょうか。

開する「住教育」の試みは、小さな家づくりから町づくりへと発展し、それが都市づくりへと繋がって行くことを子どもたちが自然と気づき学ぶことを期待する取り組みなのです。

大阪市立住まい情報センター
水野なおみ(相談担当 建築士)
玉井明子(広報プロモーション担当)

ぼくも、わたしも、
つい作ってみたいくなる!
企画展コラボ企画
「ミニおうち作り体験」
ワークショップ



住まい情報センター広報キャラクター「すまじょーくん」

「住教育」の試み
「家づくり、まちづくり、都市づくり」

住まい情報センターでは、次世代の暮らしを担う子どもたちに、住まい・町づくりの学習の機会をつくっています。幼少期から住まいについて学べるように、親しみのあるセンターのゆるキャラ「すまじょーくん」からヒントを得た「すまじょーくんハウス(1.5mの段ボール立体造形)」を制作。子どもの学びを刺激する仕掛けづくり「7つの体験」を行ってきました。子どもたちは「すまじょーくんハウス」を見るなり、吸い込まれていくかのように等身大模型の中に入って屋内レイアウトを考えたり、ミニおうち作り体験の模型を手にとって黙々と創作を行っています。これまで創作された模型は累計約2300個に及びます。個々の模型を、円形の土地に配置すれば町ができ、町並み景観や隣地について考える「町づくり」への展開も可能です。2017年には、高等学校の家庭科授業で「住まい環境と防災」を考える教材として活用されました。このよ

うな地道な取り組みは教育機関との連携にも繋がっています。ここで展

1.7つの円形の土地(町)を合体させれば都市づくりも体験できる(4階住情報プラザ) 2.ミニおうち作り体験の様子 3.段ボールで制作した「すまじょーくんハウス」。現在感染症拡大防止の観点から、「すまじょーくんハウス」の中での体験は中止。4.5.子ども建築家の作品



体験の様子はInstagramやフェイスブックなどで配信。フォローして「住まい学習プログラム」を応援しませんか。



※数に限りがありますので、体験できない場合があります

<住教育の取り組み変遷(年表)>

- 2013年8月:すまじょーくんハウス 1.5mの段ボール立体造形を制作。初めの学習ツールが誕生
- 2015年8月:「ミニおうち作り体験」を企画。学習キットの制作を実施
- 2017年8月:高等学校教員向け研修会(大阪府教育センター)にて出前講座を実施
- 2017年10月:大阪府立東住吉高等学校家庭科授業にて学習キットを活用
- 2019年11月:泉南郡中学校教育研究会家庭科部会「住まい防災まちづくり」と勉強会を実施

チャレンジしてみよう!!



「謎解き体験」プログラム例(8階ミュージアム)

大阪くらしの今昔館
まなびプログラムは
こちら>>>



各種プログラムを体験してみませんか!

この「ミニおうち作り体験」は、百分の一の縮尺で制作した紙の家の模型を使って、屋根や壁の色など外観をデザインすることが出来ます。今回のテーマは「海に浮かぶおうち」舟の上にお家をつくりました。私のおうち、私のお店、高層マンション、施設など定期的にテーマを変えているため、子どもから大人まで楽しめるプログラムになっています。センター4階住情報プラザにコーナーを設けており、恒常的に体験できるようにしています。

また、8階ミュージアムでは、謎解き体験プログラムを実施しています。動物探し、夏のしつらい、くらしの知恵など様々な切り口で楽しく館内探検ができます。全問正解でミュージアムオリジナルステッカーがもらえる仕組みになっており、こちらも子どもから大人まで参加できる企画として人気が高くなっています。是非一度チャレンジしてみてください。



3月:初午のお供え

2月:節分

1月:お正月のお飾り(28か所)

column コラム

重文民家で引き継がれる
年中行事がある暮らし

文:碓田智子(大阪教育大学教授)

話・写真提供:高林永統(重文・高林家住宅)

私たちは、お正月、お彼岸、お盆、節句など、四季折々の行事を暮らしの中で引き継いできました。しかし、生活様式が変化し外国からの文化が入るなかで、住まいの中で四季の行事のお飾りやお供えをすることが減り、年中行事の姿がしだいに変化しています。

一方、歴史的な住宅には、昔からの年中行事の姿を今日に伝えている例が多く見られます。国指定重要文化財の民家(重文民家注1)・高林家住宅(大阪府堺市)もその一つです。江戸時代中期から27代に渡り引き継がれてきた高林家住宅では、20数種類の年中行事が行われています。ここでは、代表的な行事をご紹介します。

◆1月:百舌鳥精進と呼ぶ正月行事を伝えていきます。元旦の朝4時に起きて、土間のかまどに火を入れます。雑煮と精進料理の準備、神様や仏様のお供えなどを男性だけで行うのが習わしです。200個の餅を用意し、28ある神棚にしめ縄、鏡餅、干し柿などを飾ります。雑煮を神様・仏様に供えてから、家族揃って正月を迎えます。三が日は三食とも精進料理で、卵や牛



高林家住宅の土間とかまど(左奥)



9月:お月見のお飾り



8月:お盆のお供え

乳も一切摂りません。7日の七草と15日の小正月には、「おみ」をお供えします。味噌汁に餅とご飯を入れて炊いたものです。炊いた白菜と一緒に供えます。15日には、百舌鳥八幡神社の「とんど」へ一年の神事や正月に使った道具を持っていき燃やします。

◆2月:節分に豆まきをする家庭は今も多いでしようが、高林家住宅では88力所で豆をまきます。

◆3月:お稲荷さんの行事の初午(はつごま)鯛、赤飯、油揚げ、餅、かんきつ類、お酒を供えます。庭の不動堂で行うお祭りの「大般若」もあります。

◆8月:高林家は浄土宗です。お盆の3日間は18品の料理を用意し、お茶を供えます。お茶の湯気を絶やさぬように、一日に20回も取替えます。また49基のお墓全部に花を供え、お墓参りをします。

◆9月:秋の名月に合わせ、地元のお祭り、布団太鼓があります。観月祭のこの日は、縁側にススキを掛けて団子をお供えし、月をめでます。

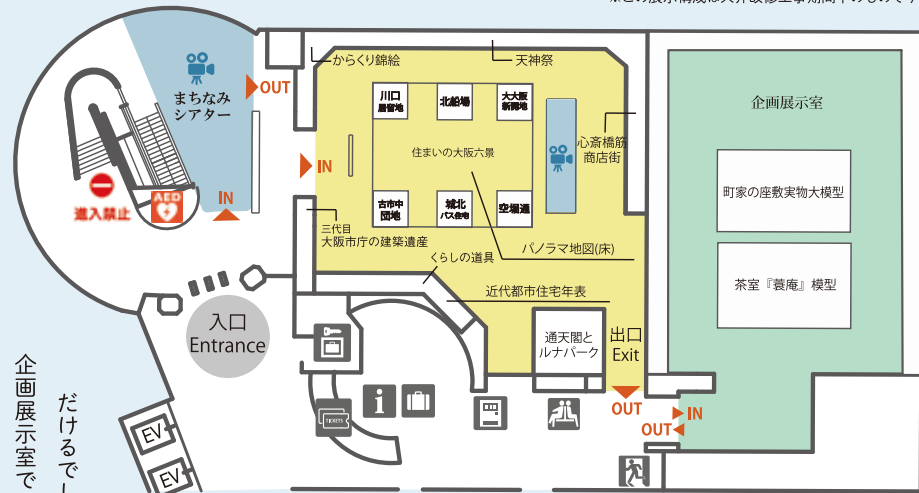
このほか、毎月25日に天神祭のお飾りを行います。菅原道真公を描いた掛け軸を座敷の床の間に掛け、お酒とお米、果物を供えます。「年中行事がたくさんあって大変ですね」とよく言われるのですが、「行事を通じて四季を感じる事ができるのは、とても恵まれたこと。息子夫婦がどう引き継いでくれるかが楽しみです。」と、26代目当主の高林永統さんはおっしゃいます。コロナ禍で「おうち時間」が増えた今こそ、私たちも年中行事のある暮らしを楽しみたい機会かもしれません。

注1) 国指定重要文化財の民家は「重文民家」と呼ばれています。重文民家の約60%は現在も代々の家族によって維持管理・保全され、暮らしの文化を伝えていきます。

モダン大阪パノラマ遊覧 8階展示フロア

※この展示構成は天井改修工事期間中のものです。

- *1 これまでの展示と変更はありません。
- *2 実物は重要文化財で大徳寺玉林院にあります。
- *3 茶室模型の展示は令和4年2月末迄。



型を設置します。茶室模型は、公益財団法人竹中大工道具館が所蔵する、茶室「蓑庵」*2の構造模型です。町家座敷は、9階の展示室・大店の座敷を再現したもので、建具は9階の展示に使用してきたものを建て込みました(2つの模型は、大工棟梁・阿保昭剛氏が組立てました)。むこう1年間*3、企画展は茶室・座敷と関連付けながら、そのまわりのスペースを使って行うことになり、その第1段が裏表紙で紹介している「商都慕情II」です。

工事にかかる1年、今昔館の展示スペースはぐっとコンパクトになりますが、そのなかで魅力的な展示・企画を組んで、ご来館をお待ちしています。

企画展示室では、茶室と町家座敷の実物大模型を再現します。

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

町並みを映像で楽しんでいた

大阪くらしの今昔館

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等で、会期が変更になる場合があります。「大阪くらしの今昔館」ウェブサイト等でご確認ください。

企画展

商都慕情II 一水のまち大阪を巡る一



『滑稽浪花名所』のうち「ざこば魚市」芳豊

〈みどころ〉

京都から大坂までの淀川兩岸の風景を描いた絵巻を、庭山耕園とその門人らが模写した「淀川兩岸帖」をはじめ、館蔵品の中から絵画や錦絵を展示し、水都とよばれた大坂の情景を想起します。

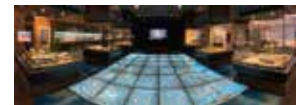
- ◆会 期：9月18日(土)～11月14日(日)
- ◆入館料：下記を参照
- ※常設展と企画展をご覧いただけます。
- ※団体は20名以上



淀川兩岸帖(部分) 庭山耕園他

大阪市立住まのミュージアム

大阪くらしの今昔館



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】
近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

天井改修工事の実施に伴う一部展示室等の閉鎖のお知らせ
現在、天井改修工事の実施に伴い、9階常設展示室および10階展望フロアを閉鎖しています。期間は、令和4年秋頃までの予定です。

ホームページ(HP)が新しくなりました。

- ・9階、10階の開鎖期間中は8階企画展示室に町家座敷を実物大で再現し、茶室の実物大構造模型(公益財団法人竹中大工道具館所蔵)とともに展示します。
- ・8階の吹抜け部分に大型映像コーナー(まちなみシアター)を開設。江戸時代の大坂のまちなみと天保年間の人々の暮らしを描いた動画をご覧いただけます。
- ・8階常設展示室は、通常どおりご覧いただけます。

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 火曜日 年末年始 その他臨時休館あり
10月～12月の休館日 10/5.12.19.26 11/2.9.15～18.30 12/7.14.21.28～1/4
入館料 一般 400円/団体300円
高・大生 300円/団体200円(要学生証提示)
※団体は20人以上
※中学生以下、障がい者手帳・マイリDID等提示(介護者1名含む)、市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)
※8階常設展と企画展をご覧いただけます
交通機関 ●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄『天神橋筋六丁目』駅下車 3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ ●JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m
〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階)
TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のため、ご利用の際は、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。

あんじゅバックナンバーはこちらから

今昔館の天井改修工事とその期間中の展示



実物大模型と「商都慕情II」



町家座敷の実物大模型



茶室「蓑庵」実物大模型
※茶室展示：令和4年2月末迄
※公益財団法人竹中大工道具館所蔵

大阪くらしの今昔館の天井とその改修工事

今昔館10階の展望フロアからは、瓦屋根が連なる近世・大坂の町並みを間近に見ることが出来ます。町並みの中心である町会所の火の見櫓の高さを確保し、柱のない大空間をつくらせているのが、筒型(ヴォールト型と言います)の天井です。まる一日・24時間の空の変化の演出も、遮光幕で天光を調節しながら、この天井に投影されているのです。その優れたものの天井ですが、この10月から約1年間の改修工事に入ります。様々な震災の経験から平成25年に建築基準法施行令が改正され、天井に関わる基準が変わりました。利用者の安全のために、今昔館もこの秋から、工事を行うことになりました。その期間、9、10階には入れなくなります。

今昔館の天井改修の場合は、他の施設と大きく異なる課題があります。改修工事にあたって、綿密な考証と伝統工法によって再現された近世・大坂の町並みを保護していかねばなりません。工事のための足場の組み方に工夫がいるのはもちろんです。さらに、木部・漆喰壁・瓦屋根に工事で発生する粉塵が付着すると、その除去がきわめて困難です。落下物による瓦屋根の損傷リスクにも備えなければなりません。また、町家室内の家具・調度の他、室外の精巧な植栽や雨落ちなどにも対策が必要です。今回は、粉塵の侵入を防ぐとともに、落下物を防ぐ養生を行い、町並みの保護に万全を期しています。皆さんに親しまれた9階の町並みを約1年間にわたり閉鎖することは残念ですが、安全・安心のために避けられない改修工事であることをご理解いただければと思います。



錦絵「浪速天満祭」歌川貞秀画

商都慕情Ⅱ

—水のまち大阪を巡る—

服部 麻衣

(大阪くらしの今昔館学芸員)

かつて水運を利用して発展し、「水都」と呼ばれた大阪。江戸時代から近代にかけては、川と橋が商業や生活の場であり、文化が生み出される舞台にもなりました。近年その魅力を見直し、水辺の生活を活気ある賑やかな場へと再生するための様々なプロジェクトが行われています。大阪くらしの今昔館では水のまち大阪の様相を、所蔵品を手掛かりにご覧いただく企画展「商都慕情Ⅱ」を開催中です(11月14日まで)。この展覧会は平成30年に開催し、「大阪の魅力を再発見できた」と好評を得た企画展「商都慕情」の続編となります。

江戸時代、大阪の市中には堀川が網目のように張り巡らされ、そこに多くの橋が架かっていたことから「八百八橋」と称されました。風の通る橋上や船の上は町人にとって夕涼みや花火見物を楽しむ憩いの場になりました。夏を迎えるにあたって行われるのは天神祭です。夏祭りには、都市部で流行する病をはらう願いが込められています。

大川を舞台に繰り広げられる船渡御の賑わいは江戸の浮世絵師歌川貞秀による錦絵からも感じられます。

京都と大阪を結び、人や物資が往来する動脈として役目を果たしたのは淀川でした。伏見から天満橋までの兩岸の光景を描いた絵の中では、田山応挙による絵巻「淀川兩岸図巻※」がよく知られています。この絵巻を持ち主である日本財界の重鎮・原六郎から大阪の経済界を代表する一人である田中太一が昭和初期に借り出して、大阪の絵師に伏見から浪華天満橋までの6つの場面を模写させていました。それが庭山耕園とその門人らによる『淀川兩岸帖』です。本展では2020年に新たに収蔵したこの作品を中心に、大阪の景観を描いた所蔵品のうち、特に水辺の風景に注目した作品をご紹介します。水都大阪の情景巡りをお楽しみください。

(※公益財団法人アルカンシエール財団蔵、なお、本作品は展示いたしません)



『淀川兩岸帖』のうち「浪華天満橋」庭山耕園